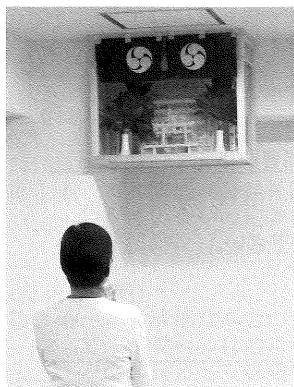


薬連ハイライト

神棚祭を開催！



平成30年12月3日(月: 大安)の午前、本田あきこ中央後援会の新しい事務所の開設に伴い、神棚祭を挙行了。本田あきこ氏のほか、山本会長ら中央後援会の役員及び支援団体の担当者が参加し、まず、須賀神社の神主を祭主として神事が執り行われた。

玉串奉奠では、本田あきこ氏、中央後援会会長の山本信夫氏、薬剤師を代表して中央後援会副会長の岩本研氏、支援団体を代表して製薬産業政治連盟総務部長の増田敏美氏、最後に、顕政会を代表して本田良一氏が、順次神棚の前に進み、二拝二拍手一拝を行い玉串を奉奠した。

神事終了後、参加者全員で乾杯を行った後、本田

あきこ氏より戦いに向けての決意を込めた挨拶が、山本会長より参加者へのお礼を含めた挨拶がなされ、閉会となった。



引き続き同所で、本田あきこ氏の支援団体との第一回打合せ会が行われた。中央後援会役員の紹介と支援団体の参加者の紹介が行われ、山本会長及び本田あきこ氏より改めての挨拶に続き議事に入った。まず、岩本副会長より、本田あきこ中央後援会の活動について資料を基に説明がなされ、続いて石井副会長より、支援団体にお願いしたい活動について、選挙前と選挙中に分けて説明が行われた。質疑応答の後、閉会となった。

もとゆき便り

平成31年度政府予算案

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

平成31年度予算及び平成30年度第2次補正予算の政府案は、昨年12月21日に閣議決定されました。

平成31年度の一般会計の歳出総額は、前年度当初予算より3兆7437億円増加して初めて100兆円を超えて101兆4564億円となり、7年連続で過去最大規模となりました。このうち社会保障関係費は、消費税増税分を活用した幼児教育・保育の無償化及び介護人材の処遇改善や年金生活者支援給付金等の社会保障充実への経費を含め、34兆587億円となり、前年度当初予算に比べて1兆704億円の増加となっています。

厚生労働省の一般会計予算総額は、前年度当初予算比9089億円増の32兆351億円となりました。このうち社会保障関係費は、医療11兆9974億円、年金11兆9870億円、介護3兆2301億円等の31兆5930億円となっています。また、医薬品等の関連では新規の事業費として、革新的医薬品等の実用化促進のための審査体制の強化に1億800万円、医薬品等の申請・届出手続きのオンライン化のシステム整備に

3億700万円、地域保活ケアシステムにおける薬剤師・薬局の機能を強化するための薬局間・医療機関との連携体制を構築するモデル事業の実施に2億1200万円、等が計上されています。



概算要求時に示した高齢化等に伴う、年金・医療等の約6000億円の自然増に対しては、所得の多い会社員の介護保険料の引き上げで約600億円、消費税引き上げに伴う薬価の改訂により約490億円など、約1200億を削減し、4800億円の増となりました。

平成31年度予算案及び補正予算案については、1月末に召集予定の通常国会において審議されます。また、昨年の医薬品医療機器制度部会の検討結果を踏まえた薬機法等の改正法案の提出も予定されています。引き続き、医療や介護体制の整備・充実等、誰もが安心して暮らせる社会を築くために尽力して参りたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp